

# 県酪だより

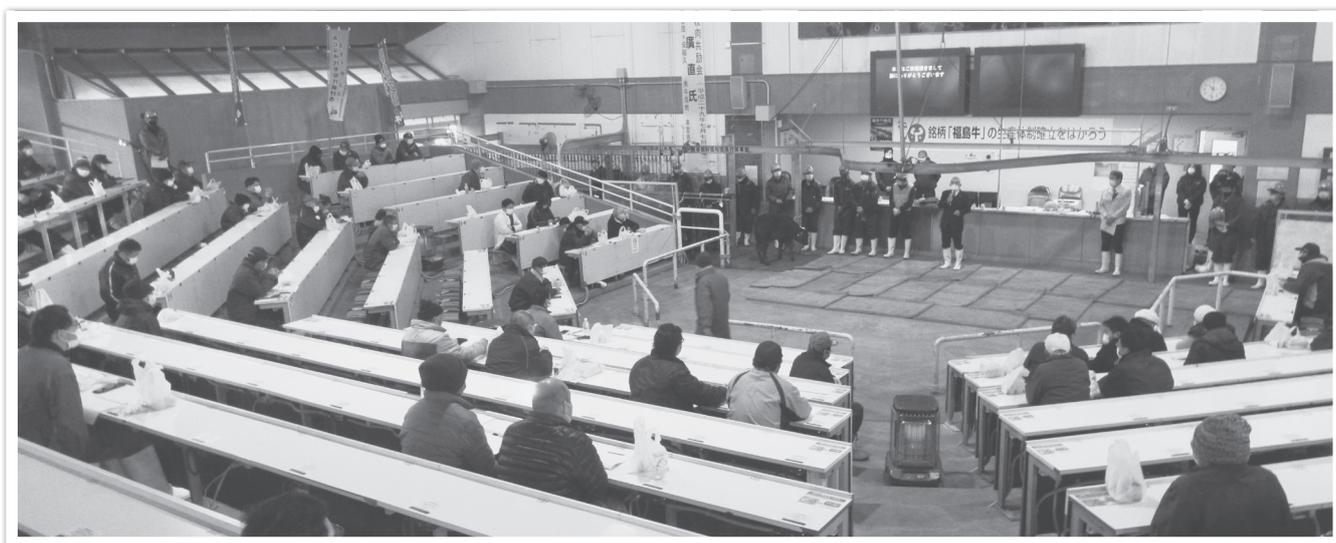
K E N R A K U D A Y O R I

2021

2

vol.278

## 令和3年 県酪農協乳牛市場 初セリ開催される!!



一月十二日(火)に福島県家畜市場(本宮市)において、令和三年 福島県酪農協乳牛市場初セリが開催されました。主催者を代表して宗像組合長より新年の挨拶があり「昨年はコロナで始まり、コロナで終わる一年となりました。生産者側として、購買者の皆様にご喜ばれる子牛作りを行い、コロナウイルスに負けないよう、より一層活気のある市場を目指し、今年も運営して参ります。本年も宜しくお願致します。」と挨拶されました。



その後、購買者を代表して(有)上野牧場様による乾杯の発声を頂き初セリを祝いました。今回の乾杯はコロナ対策として、二〇〇mlの牛乳パックでの乾杯となりました。

セリ市場では、二三頭の子牛が販売され、和牛雄平均五一一、六四三円、和牛メス平均四五〇、〇〇〇円、F1雄平均二〇二、六八四円、F1メス平均一九八、六三三円、ホル雄平均一〇〇、二二二円となり、昨年に引き続きF1のメスの相場が高い結果となりました。

今年も生産者・購買者の皆様に満足いただけるような、より良い市場を運営して参りますので、宜しくお願致します。





# 2021 酪王 300mlシリーズ 応募キャンペーン

対象商品のバーコードを10枚1口でご応募いただいた方から抽選で  
**A賞・B賞ご希望の賞 いずれか1点をプレゼント!!**

**A賞**  
100名様に



**酪王カフェオレ  
オリジナルレジャーセット**

※イラストはイメージです。

ポップアップテント・クーラーバッグ  
レジャーシート・Tシャツ・水筒・ランチBOX

**B賞**  
100名様に



**酪王プレミアム  
アイスクリーム  
8個入セット**

**Wチャンス**  
はずれた方の中から抽選で  
**酪王オリジナル  
QUOカード**  
500円×2枚セット

100名様に **プレゼント**



対象商品はこちらの7商品

**酪王300mlシリーズ**



酪王牛乳



酪王  
カフェオレ



ハイ  
カフェオレ



いちごオレ



やさしい  
カフェオレ



紅茶オレ



のびのび  
ヨーグルト

キャンペーンに関するお問い合わせは ▶ 酪王乳業株式会社 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷80-1 TEL.024-951-7731(代)

 **酪王牛乳**

プレゼント詳細は酪王HPからもご覧いただけます。



## 2021 酪王 300ml 応募キャンペーン

### 実施期間

2021年2月1日 ～ 2021年3月31日まで（当日消印有効）

### 対象商品

酪王 300ml シリーズ 7 商品

- ①酪王牛乳 300ml                      ②酪王カフェオレ 300ml                      ③ハイカフェオレ 300ml
- ④いちごオレ 300ml                      ⑤やさしいカフェオレ 300ml                      ⑥のむのむY G 300ml
- ⑦紅茶オレ 300ml

### 応募方法

対象商品のバーコードを切抜き、応募専用封筒または封書に「10枚一口（組み合わせ自由）」を入れて、A賞・B賞ご希望の賞、氏名、住所、ご連絡先（携帯電話可）、年齢、職業を明記の上ご応募ください。お一人様何口でもご応募いただけます。

### 送り先

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷 80-1

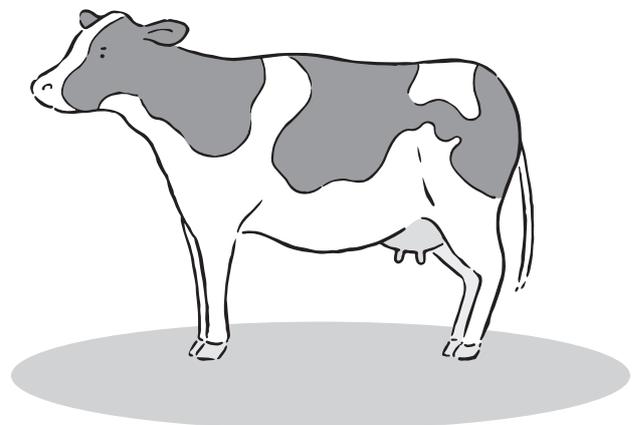
**酪王乳業株式会社 300ml シリーズ応募キャンペーン係まで**

### 発表

厳正な抽選の上、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。  
（抽選日：2021年4月上旬を予定）

### キャンペーンに関するお問い合わせ

酪王乳業株式会社 TEL. 024-951-7731 (代)



## 生産基盤推進室コラム

2月

## 硝酸態窒素との付き合い方

ほとんどの酪農家さんが硝酸態窒素について聞き覚えがあるかと思いますが、あまり良いイメージを持っている酪農さんは少ないかと思います。今月号はそんな硝酸態窒素について詳しくお話していきたいと思います。

## 植物と硝酸態窒素

硝酸態窒素について、完全に毒だという認識を持っている方もいらっしゃると思います。確かに牛にとっては不利益をもたらす存在ですが、植物にとっては非常に重要な栄養源ということをもまずは理解いただきたく、初めに植物と硝酸態窒素の関係についてお話しします。

植物がタンパク質を合成するときに原料となるのが窒素（N）です。窒素にも様々な形があるのですが、植物が栄養源として窒素を吸収する際は「硝酸態窒素（NO<sub>3</sub>-N）」の形で吸収することが多いです。つまり硝酸態窒素は牧草のタンパク質合成に原料として大きく関わっている栄養素と言えます。

図1. 硝酸態窒素の流れ



## 硝酸態窒素が増えるとき

それではどのようなときに植物の中の硝酸態窒素が過剰になってしまうのでしょうか？

## ①生堆肥や窒素肥料の過剰投入

植物が作りたいたンパク質の量を超えると、原料である硝酸態窒素が植物体内に蓄積されてしまいます。生堆肥等発酵の十分でない堆肥には硝酸態窒素がたくさん含まれており、このような堆肥を草地に撒いてしまえば、土壌の硝酸態窒素濃度が上がってしまい、ゆくゆくは牛の口に入る牧草が毒となってしまう恐れがあります。また化成肥料にも製品により異なりますが、硝酸態窒素が含まれているものもありますので、化成肥料を撒く際に不安な場合は生産基盤推進室や購買畜産課にお問い合わせください。肥料メーカー等と相談の上最適なご提案に結びつけます。土壌の硝酸態窒素過剰が牧草の硝酸態窒素過剰につながるケースとして最も多いため、安全な牧草を作りたときは一度土壌分析を行い土壌の窒素状態を確認することをお勧めします。

## ②日照時間の不足、土壌の多湿

植物は自身の成長のために光合成をします。上述したタンパク質の合成と光合成は深く結びつきあっており、日照時間が不足した年にはタンパク質の合成がうまくいかず硝酸態窒素が牧草から検出されるというケースが多く見受けられます。また硝酸態窒素とは水に溶けた状態で植物内に吸収されます。そのため多雨や湿害の発生によって土壌が多湿状態になると、土壌中の硝酸態窒素はより水に溶け植物内に吸収されていきます。天気や気候についてはコントロールのできない部分ですので、「少し牧草の青さが気になる」「牛の調子が悪いかもしれない」といった牛舎の変化に気づいた場合は、早期に牧草および乾草の成分分析をお勧めします。

## ③早刈り

植物の種類にもよるのですが、出穂前に刈り取りを行った牧草は出穂期や開花期に比べ硝酸態窒素が高くなる傾向があります。これは成長期段階である出穂前の植物には、タンパク質に合成される前の硝酸態窒素が多く含まれているからです。一般的に早刈りに注意したほうが良い植物にイタリアンライグラス、ソルゴー、デントコーン、スーダン、オーツ等が挙げられます。刈り取りスケジュールや栄養価といった観点で出穂前に刈り取りを行う場合も往々にしてあるかと思いますが、しかし、②での説明事項とも併せ、梅雨時期等での極端な早刈りは硝酸態窒素の観点からはリスクがあるということをご承知ください。

## 牛と硝酸態窒素

それでは1番の関心事かと思われます「牛の口に硝酸態窒素が入るとどうなるのか」について説明します。

過剰な硝酸態窒素を牛が口に入れた場合、急性中毒と慢性中毒のいずれかを発症します。

急性中毒とは約3000～4000ppm以上の硝酸態を含む飼料を給与すると発症します。俗に「ぼっくり病」とも言われますが、硝酸態窒素は血液中の赤血球と結合し、全身の酸素欠乏症状を起こし、のちに牛は死亡してしまいます。

慢性中毒とは1000～2000ppmの硝酸態窒素を含む飼料を継続的に一定の期間給与した際に発症します。硝酸態窒素はのちに子宮に吸着し、流産や胎児異常を引き起こします。また硝酸態窒素はビタミンAを破壊することも知られており、免疫力の低下や食欲不振、下痢というように乳牛の体調を多方面に悪化させていきます。

ただし、上述した硝酸態窒素含量（～ppm）とはあくまで飼料乾物全体での割合を表しています。例えば牧草から1000ppmの硝酸態窒素が検出された場合でも、表1のように給与すれば飼料全体の硝酸態窒素含量を薄めて、安全に給与することができます。また上記の通りビタミンAの不足に陥る可能性もありますので、硝酸態窒素が含まれている飼料を給与する際にはビタミンの増給を推奨します。

表1. 牧草から1000ppmの硝酸態窒素が検出された場合

飼料	給与量	硝酸態窒素含量 (DM : ppm)
牧草 (DM50%)	7kg (DM3.5kg)	1000ppm
輸入乾草 (DM90%)	5kg (DM4.5kg)	0
配合飼料 (DM90%)	15kg (DM13.5kg)	0



$$\begin{aligned} \text{乾物摂取量} &= 3.5\text{kg} + 4.5\text{kg} + 13.5\text{kg} \\ \text{(DMI)} &= 21.5\text{kg} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 3.5\text{kg(牧草DM)} \div 21.5\text{kg (DMI)} \\ = 16.3\% \text{(DMIに占める牧草DMの割合)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 1000\text{ppm} \times 16.3\% \\ = 163\text{ppm} \text{(飼料乾物全体中の硝酸態窒素含量)} \end{aligned}$$

今月は硝酸態窒素について説明いたしました。飼料や牛の状態に異変を感じた際には、一度土壌と飼料の成分分析を早期に行う事を推奨します。また牧草内だけでなく土壌にも硝酸態窒素は多く含まれていることは上述した通りで、土かみや土砂の混入によっても乳牛の口に硝酸態窒素が入る可能性も頭に入れていただき収穫作業を行っていただければと思います。ご不明な点がございましたら、お気軽に生産基盤推進室までお問い合わせください。今月もありがとうございました。

## ZENOAQ コーナー Vol.194



## カルシウムについて (続編)

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

# 新しいカウプロ-PHAPが発売になります

## 溶解性に優れたMDPCを配合

## MDCP (第1.5リン酸カルシウム) の特徴

- 溶解性(ク溶性※1) がハイレベル  
 焼成TCP (第3リン酸カルシウム) の溶解性 **1.6倍**
- P、Caの成分値にも違いがあります

種類	MDCP	TCP
P ※当社規格値	21%以上	18%以上
Ca ※当社規格値	16%以上	30%以上

※1 ク溶性とはクエン酸溶解性の略です。  
 当社ではPの溶けやすさの指標としてク溶性を用いております。  
 主に農業分野のリン酸カルシウム溶解度に用いられる指標であり、Pの溶けやすさを示す指標として代表的な測定方法です。

ペプチドミネラル配合 混合飼料

# カウプロ-P HAP

## より吸収性の高いペプチドミネラル配合。

ペプチドミネラルは通常ミネラルとは異なり、はじめからアミノ酸と結合しているため、吸収を阻害する物質などとは結合せずそのままの形で吸収されます。従って吸収性が優れた有用性の高いミネラルとされています。



### 特長

- 1 ペプチドミネラル配合で、牛の生体内の利用率を高めています。
- 2 主要ミネラルのバランスを配慮しCaとMgを強化しています。
- 3 アルファルファミールと糖蜜で嗜好性を高めています。

#### 原材料名

リン酸カルシウム、炭酸カルシウム(1kg中 Ca:250g P:37g)  
アルファルファミール、糖蜜、脱脂米糠

#### 給与方法

牛用飼料に通常1日1頭当り下記の量を添加、混合して与えて下さい。  
・育成牛:50g  
・泌乳牛、妊娠牛:100g~300g  
・肉用牛:50~80g

#### 保存、使用上の注意

水濡れを避け乾燥した場所に保管して下さい。  
開封後は早めに使用して下さい。  
対象家畜以外には使用しないで下さい。

#### 含有する飼料添加物の名称及び量(1kg中)

酸化マグネシウム	Mgとして	80g
硫酸鉄	Feとして	1g
硫酸銅	Cuとして	80mg
硫酸亜鉛	Znとして	800mg
硫酸マンガン	Mnとして	200mg
硫酸コバルト	Coとして	100mg
ヨウ酸カルシウム	Iとして	50mg
ペプチド銅	Cuとして	20mg
ペプチド亜鉛	Znとして	200mg
ペプチドマンガン	Mnとして	50mg

#### 包装

20kgクラフト袋入り

【販売元】

**福島県酪農業協同組合**

福島県本宮市仁井田字一里塚17番地  
TEL 0243-33-6981

【製造元】

**東洋電化工業株式会社**

高知県萩町二丁目2番25号

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2020年12月31日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数										
	支 所 名 称	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
							乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北支所	35	36	97.2	536	225	175	370	858	1,403	2,164	2,319	93.3	61.8	
県中支所	68	76	89.5	331	174	169	297	836	1,302	1,807	1,925	93.9	26.6	
浜支所	7	7	100.0	86	33	25	55	122	202	321	320	100.3	45.9	
県南支所	40	42	95.2	761	288	216	576	1,094	1,886	2,935	2,834	103.6	73.4	
県酪合計	150	161	93.2	1,714	720	585	1,298	2,910	4,793	7,227	7,398	97.7	48.2	

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	支 所 名 称	2021	2021	2021	2021	2021	2021	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛
県北支所	111	138	115	90	83	104	129	35	34,191	977	27.8	24.4
県中支所	97	84	102	88	76	66	127	68	28,957	426	25.6	22.2
浜支所	20	11	11	12	18	23	18	7	5,072	725	28.7	25.1
県南支所	141	148	144	152	121	133	241	40	44,840	1,121	26.9	23.8
県酪合計	369	381	372	342	298	326	515	150	113,062	754	26.9	23.6

令和2年度受託乳量の状況

令和2年12月の受託乳量は、県全体で前年比99.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,505トンの前年比100.8%（対前年同28トンの増）、全農県本部は1,605トンの対前年比95.4%（対

前年同月77トンの減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比99.3%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.3%となりました。

令和2年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で飲用向けが101.1%、学乳向けが103.7%、醗酵乳向けが102.0%と上回り、加工向けが92.3%、生クリーム向けが72.0%、チーズ向けが88.8%と下回って推移しました。飲用向け、発酵向けはコロナ禍に於ける巣ごもり需要で、前年を上回る販売となりました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力

をお願い致します。酪王乳業『酪王カフェオレ』をはじめ、新商品『酪王紅茶オレ』につきましても、皆様に末永くご愛飲頂きますようよろしくお願ひいたします。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均46.3トン（前年比100.6%）で、本組合生産量の41.0%、県全体生産量の28.1%の処理量となりました。

令和2年度12月別支払乳価表

令和2年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据置きとなりました。

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年ほぼ同額の33銭上回る単価となりました。

全国の新型コロナ感染者数が減ることが、人・物が今までとおり動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がるにつなげていきます。春先から我慢が続いていますが、皆で新型コロナ終息するまで頑張りましょう。医療従事者皆様のご苦労については感謝申し上げます。

■東北全体プール乳代金 4,349,883千円 単価109.179円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 495,313千円 単価109.179円  
 プール対象外乳代金② 84,715千円  
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 580,028千円 単価113.511円

項目	令和2年12月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	109円792	109円277	0円515	103円264
補給金単価	1円128	1円276	-0円148	1円265
集送乳調整金単価	0円345	0円382	-0円037	0円373
合計	111円265	110円935	0円330	104円902

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体12月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	28,122	907.0	101.1	66.7	65.5
加工向け	4,582	148.0	92.3	10.9	11.7
学校給食向け	2,343	76.0	103.7	5.6	5.3
醗酵乳向け	6,001	194.0	102.0	14.2	13.9
生クリーム向け	982	32.0	72.0	2.3	3.2
チーズ向け	155	5.0	88.8	0.4	0.4
合計	42,185	1,362.0	99.3	100.0	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

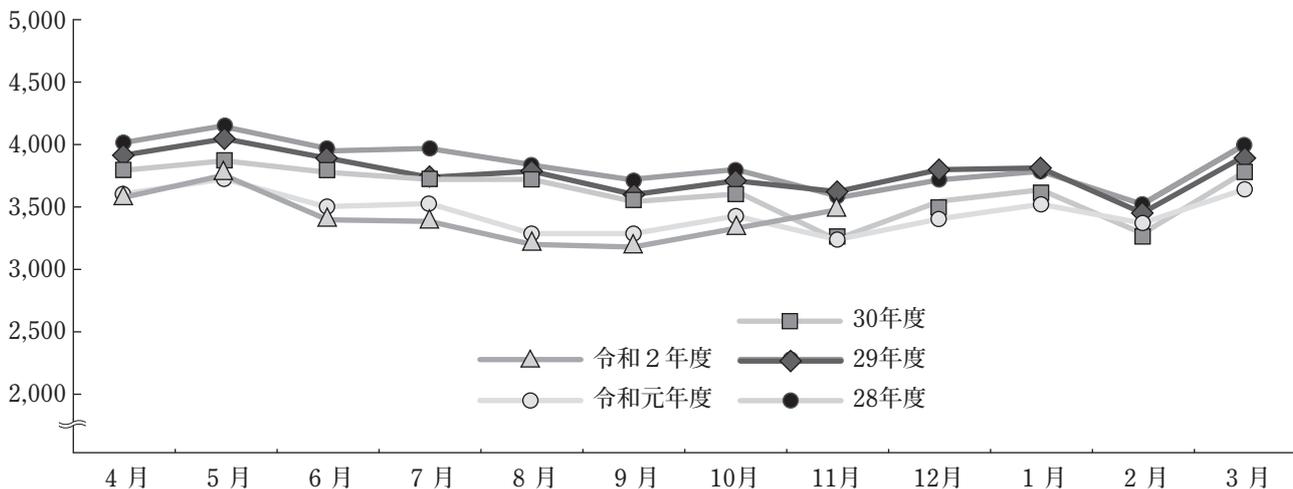
北海道：102.0%、都府県：100.4%

団体名	12月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,505	113.1	100.8
全農福島県本部	1,605	51.8	95.4
合計	5,110	164.9	99.1
東北生乳販連	42,185	1,360.8	99.3
全国	589,813	19,026.2	101.3

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505				
前年比%	99.5	100.1	99.1	98.7	99.5	97.6	99.0	99.8	100.8				

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265				
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.243
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.994

## 第303回 県酪協乳牛市場成績

令和3年1月12日開催

購買者数 20名（うち県外8名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	5 (100)	507,000 318,000	450,000 (95)	99 (79)	4,555 (121)
		雄	14 (100)	653,000 250,000	511,643 (106)	107 (102)	4,804 (104)
	乳 牛	メス	3 (100)	47,000 15,000	28,000 (48)	62 (100)	452 (48)
		雄	52 (100)	148,000 5,000	100,212 (94)	73 (101)	1,368 (91)
	交 雑 牛	メス	53 (98)	267,000 10,000	198,623 (106)	69 (95)	2,875 (112)
		雄	79 (100)	333,000 39,000	202,684 (95)	78 (100)	2,600 (95)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																															
		<31	~ 38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	~ 65								
ET和牛	メス	1									2			1	1																		
	雄	1					1					2		2			1	1	1	1	1		1	1		1							
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																															
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24							
乳 牛	メス		1	1		1																											
	雄		1				5	4	6	6	2	5	3	7	9	4																	
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																															
		<8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33						
交雑牛	メス	4		1	1	1			1	3	1	6	4	3	2	5	5	11	2	3													
	雄	6	1		2	1		1	6	1	2	3	6	7	10	12	7	1	1	1	3		4	3			1						

## 組 合 の 動 き 1 月

1月12日	乳牛せり市場	1月27日	酪青連役員会
1月22日	酪王乳業(株)取締役会	1月27日	第八次中期3ヵ年座談会 (青年部役員向け)
1月22日	福島県生乳委託者委員会幹事会	1月28日	県酪女性部やまびこ会ひまわりコンクール審査会
1月22日	東北酪青女役員会 (WEB)	1月28日	第八次中期3ヵ年座談会 (女性部やまびこ会役員向け)
1月25日	福島県農業会議常設審議委員会	1月29日	経営検討会兼再建検討委員会
1月26日	第9回理事会		
1月26日	酪政連福島県支部連合会三役会		
1月26日	全酪連理事会 (WEB)		

## 理 事 会

## 第9回 令和3年1月26日

## 議 案

議案第1号 組合員の出資口数の減少について

## 報告事項

- 1) 安齋利勝理事逝去に伴う組合役員及び子会社取締役等の対応について
- 2) 第八次中期3ヵ年計画各地区座談会の報告について
- 3) 第7回理事会における復興牧場の質問について
- 4) 役員賠償責任保険について
- 5) 今後の日程について

## ～ 訃 報 ～

当組合の現役理事であります安齋利勝氏（満69歳）が令和3年1月9日に逝去されました。平成12年に当組合の役員に就任し、平成18年には代表監事、平成27年からは副組合長を歴任され、県酪農業協同組合の発展及び東日本大震災・東京電力第一原子力発電所事故からの本県酪農復興に尽力されました。また、（一社）日本ホルスタイン登録協会理事、福島県乳牛改良推進協議会会長を務め、福島県の酪農の基礎となる乳牛改良にも大きな功績を残しております。また、（一社）福島県酪農ヘルパー協会理事、日本酪農政治連盟福島県支部連合会副会長を務められており、多方面からサポートをいただいております。謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## ～ 異動のご挨拶 全酪連仙台支所 内田 悠稀～

平素より弊会事業に格別のご高配を賜り、誠に御礼申し上げます。

私、内田悠稀はこの度2月1日より岩手・青森県担当へ異動することになりました。福島県担当在職中はひとかたならぬお世話を頂き、誠に感謝しております。本来ならば、一人一人お伺いしご挨拶すべきところではございますが、異動までの日にちも少なく、ままならないため、この紙面にて失礼致します。

令和元年8月より、1年と半年という短い期間ではありましたが、酪農についてのみならず仕事についても多くを学ばせていただきました。異動後も引き続き酪農家さんをまわる仕事となりますので、福島での経験を活かして精一杯業務に励む所存です。

最後になりましたが、右も左もわからない私を暖かく迎え入れて下さった福島県の酪農関係者の皆様に深く感謝いたします。皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げまして、異動の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



## 日本列島ダーツの旅に山田牧場が出演！！

1月2日放送の所ジョージさん司会の人気番組「1億人の大質問!? 笑ってこらえて!」の人気コーナー「日本列島ダーツの旅」にて当組合員の山田英司さんが取材を受け、放送がなされました。

丑年にちなんで「福島県で牛探しの旅」という内容で、石川町の地元住民に聞き込みを行った結果、山田牧場へと辿りついたのです。

取材当日は松下奈緒さんがスタッフと突然の来場。山田さんは何を喋ったのか全く覚えていない程緊張したとのことでした。

番組内では山田さんの希望により酪王牛乳、カフェオレの紹介がなされた他、松下奈緒さんは牛と触れ合い、子牛を散歩させる場面等も放送されました。

散歩をさせた牛については松下奈緒さんが「ジョージ」と命名され、触れ合っている姿はとても微笑ましいものでした。

けがをさせないよう小さい牛を選ぼうと思ったが、丁度良い月例の牛がいなかった為、やむなく雄子牛を散歩させたとのことでした。

ジョージ君については売却を予定していましたが、家族会議の結果しばらくは残すこととし、今も愛情を持って育てています。



### 『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(∩o∩)する話題がいいですね）  
◎文章だけでも結構です。  
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）  
メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。  
E-mail : [yuuki-saitou@fukuraku.or.jp](mailto:yuuki-saitou@fukuraku.or.jp)・FAX0243-33-1103